

# 令和6年度第1回釜利谷協議会議事録（7月29日開催）

【出席者】（委員）	小林正稔	しらかばこども家庭支援ステーション	副所長
	佐藤幸也	関東学院大学理工学部	教授
	佐々木悦子	桜美林大学	入学部アドバイザー
	鈴木薫	横浜市立金沢中学校	校長
	長倉かすみ	横浜市立金沢動物園	園長
	久保真紀	釜利谷高校PTA	会長
	金子博暢		校長
（事務局）	須田孝之		副校長
	田中祥雅		教頭
	田中弘子		事務長
	穂積啓之		総括教諭（キャリア部会）
	永末福太郎		総括教諭（学力向上部会）
	飯田博一		総括教諭（SLS部会）
	近藤純子		総括教諭（地域協働部会・学校評価部会）

## 1 校長あいさつ

本年度4月より校長を拝命いたしました。どうぞよろしくお願いたします。

本日はご多忙の中、令和6年度第1回釜利谷協議会にお集まりいただきましてありがとうございます。

本校は令和5年度に創立40周年を迎えて本年度41年目、クリエイティブスクールとして16年目になります。

令和6年3月に行われました令和5年度第3回釜利谷協議会では、令和6年度から9年度までの学校目標設定などについてご意見を頂戴いたしました。5年度までの目標を残しつつ新しい取組を加え、学力のみならず資質向上を掲げることといたしました。

釜利谷高校のめざす学習意欲、学力、体力の向上や社会性、職業観の育成を推進するための協議をすすめて参りたいと思います。

本日は4月より各部会の成果と課題などを報告させていただき、忌憚のないご意見を頂戴したいと思います。

## 2 釜利谷運営協議会委員及び会長、副会長の選出

会長：小林正稔 副会長：金子博暢

## 3 協議

### (1) 令和5年度釜利谷高等学校の学校運営について報告

- ・釜利谷高等学校のスクールミッション・スクールポリシー  
学校要覧参照
- ・令和5年度学校評価報告・令和6年度学校目標について  
学校要覧参照
- ・各運営部会より報告  
資料参照

(2) 各委員より自己紹介、意見・感想

小林委員：クリエイティブの準備段階から関わっている。現在は、しらかばこども家庭支援ステーションで、いじめの対応や様々なアドバイス等を行っている。

釜利谷高校は、全体的にコツコツ進んでいると思う。文部科学省から指示される内容は、釜利谷高校ではすでに取り組んでいるので、自信をもって今後も進めてほしい。

学力より資質の向上をめざすことが大切。これからは意欲がある人が求められる。人口が減っていくのだから、嫌なことを押し付け合っているようではだめで助け合うことが大切。

子どもたちに考えを押しつけないでほしい。人生 100 年時代と言われているのだから、十分に悩んで、慌てて社会に出る必要はない。

職員には、最低限これだけやっていけばよいというようなマニュアル（ハンドブックのようなもの）を作してほしい。

鈴木委員：中学 3 年生は、進路に向け、夏休みに学校見学などに行く時期を迎えている。

個別支援の生徒が釜利谷高校を志望している。

入試に学力検査がないことが、生徒にとって魅力のようである。金沢中学校は生徒の人数が多い分、多様性に富んでいる。

2 点質問だが、①興味を引き出す指導とはどのような指導なのか。②進路状況について、38 期の女子生徒の未定率が 25%もあるのはどういうことなのか。

穂積教諭：②について、未定者の中にはアパレル業界に就職したかったが採用されず、アルバイトの道を選んだような生徒もいる。

校長：①については、説明する際に言葉では理解できないような事柄に対し、画像を使って説明したり、例えば数学なら公式を天秤に置き換えて説明したり、歴史はゲームのようなことを取り入れて興味を持たせたりする等、様々な工夫をしている。

佐々木委員：S L S 部会として、睡眠時間や朝食の摂取状況に関して心配である。総合的な探究の時間などで指導することはできないものか。現在、若者自立支援ホームの手伝いをしているが、そこに暮らす子どもたちには、睡眠や食事の習慣をきちんと指導している。最初は目も合わせてくれなかったが、だんだん変わってきている。生活リズムが整えば、学習活動にもいい影響が出る。

長倉委員：大学卒業後、一度は民間企業に就職したが、26 歳くらいから動物園で働き始める。高校生にとって大切なことは、信頼できる人と出会うこと、相談できる友達を持つことだと思う。保健室の利用数が非常に多いということは、保健室の先生は信頼できるのであろう。今後も動物園でできることがあれば協力したい。

久保委員：釜利谷高校には 6 年間保護者として関わっているが、少しずつ良くなっていると思う。今 3 年生の息子も進路の目標が定まり、それに向かって頑張っている。

佐藤委員：社会学者であり、教育学や農学にも関わり、現在は理工学部に所属している。大学では、小4の数学から学び直しをさせている。地域協働として、大学と高校の連携をはかるために釜利谷高校の土曜教室や学習支援に本校の学生たちが関わっています。その学生たちの多くは、教員採用試験に合格している。学びの空間、生きる空間を作ってきた釜利谷高校は素晴らしい。職員にとっては大きな労力が必要になると思うが、自分自身が学ぶこともあると思う。ICTの活用も大切であるが、ノートにしっかり書かせることも大切。釜利谷高校で生徒に指導した学生は、100%合格している。

小林委員：教員が魅力的でなければいけない。

校長：先ほど報告していなかったが、今年度のSSEは本校職員が考えた独自のプログラムを始めた。

穂積教諭：教員が本校生徒に合った道徳的な内容のNHK動画を教材にした。生徒も一生懸命考えながら意欲的に取り組んでいた。

小林委員：教員が一生懸命やればだいたい間違えはない。他から持ってきたものをそのまま使うのではなく、目の前の生徒に合ったものにアレンジすることが大切。

#### 4 事務局から

##### (1) 今後の日程

次回の釜利谷協議会 11月2日（土）に釜高祭（文化祭）をご覧ください。

時程は調整中であるが、例年10時30分から開始している。詳細は後日連絡するのでご予定ください。

閉会